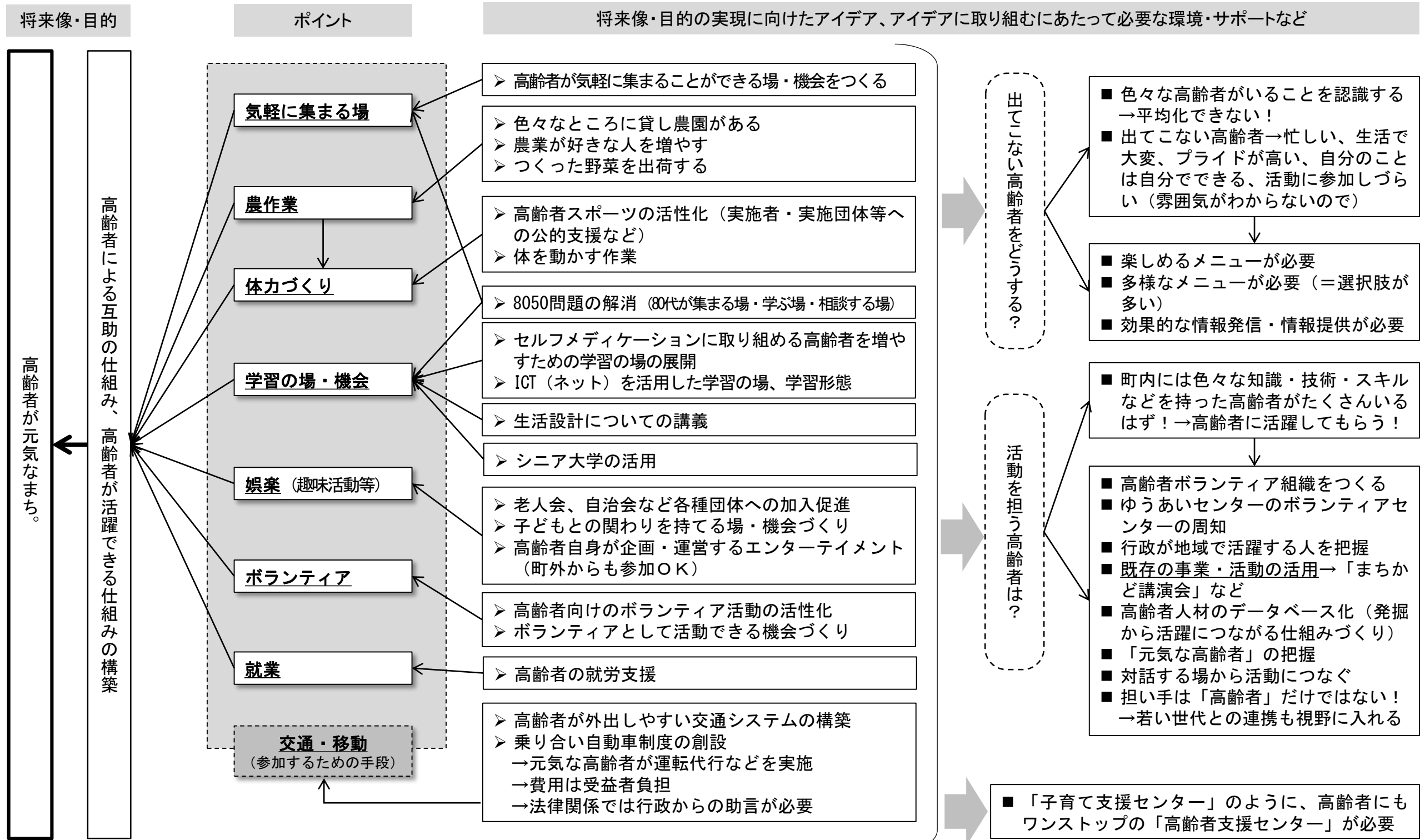


1. 元気な高齢者（生涯現役）

■問題意識

高齢化が進行し、高齢者人口が増加するなか、元気な高齢者はたくさんいるが、高齢者が培ってきた経験や知識、技術などを生かす機会が少ない。**高齢者が高齢者を支援したり、地域の課題を解決するなど色々な活動に取り組めたらよいのではないか。**

■将来像・目的とその実現に向けたアイデア

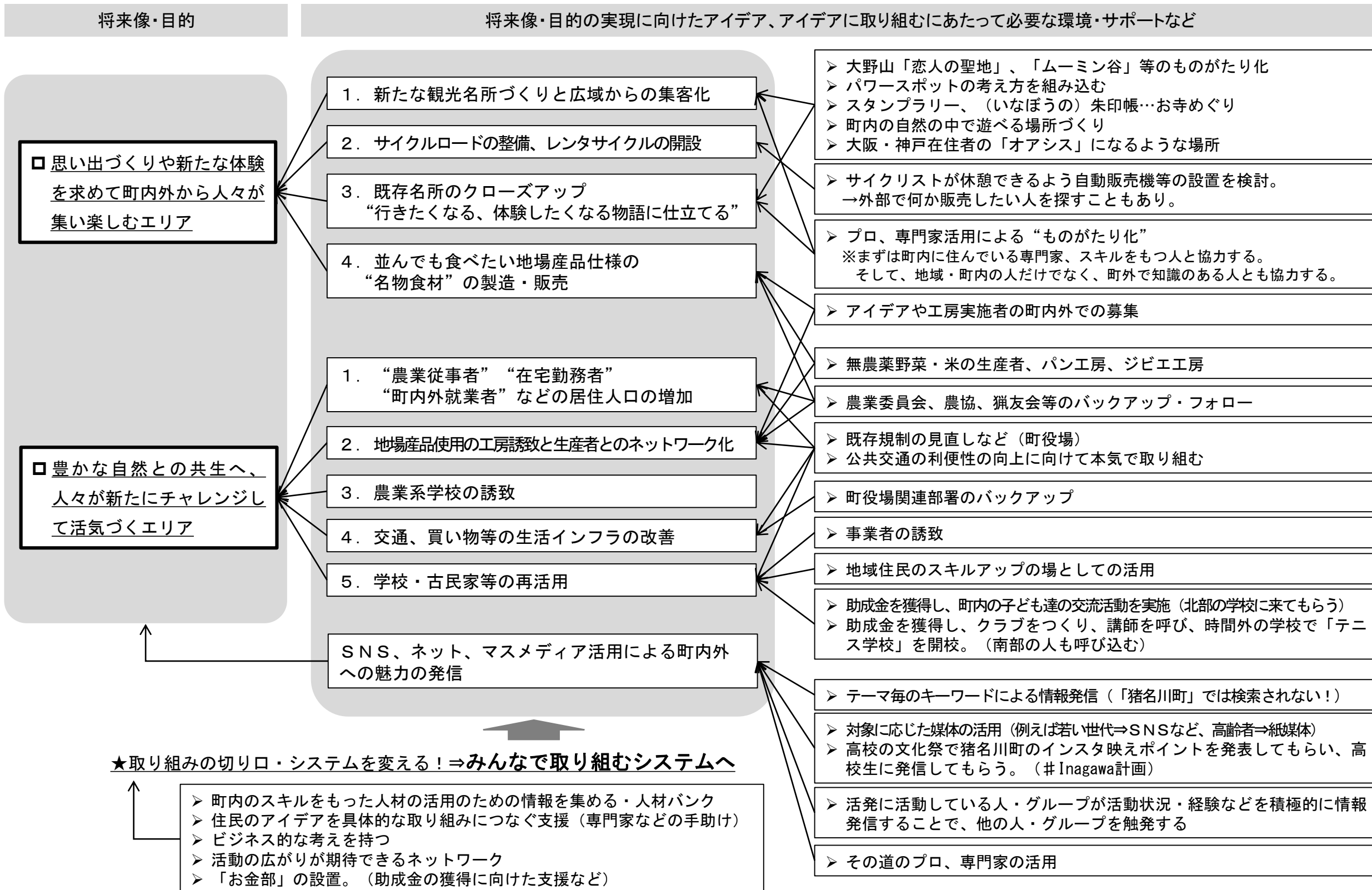


2. 北部エリアの活性化

■問題意識

- ・「活性化」とは何か。人がたくさん来て、経済的に豊かになることが活性化なのか。それともそこに住んでいる人が幸せに暮らし続けていけたら活性化なのか。
- ・北部があるからこそその猪名川町！さらなる魅力あるまちづくりに向けて、北部エリアの活性化が重要。

■将来像・目的とその実現に向けたアイデア

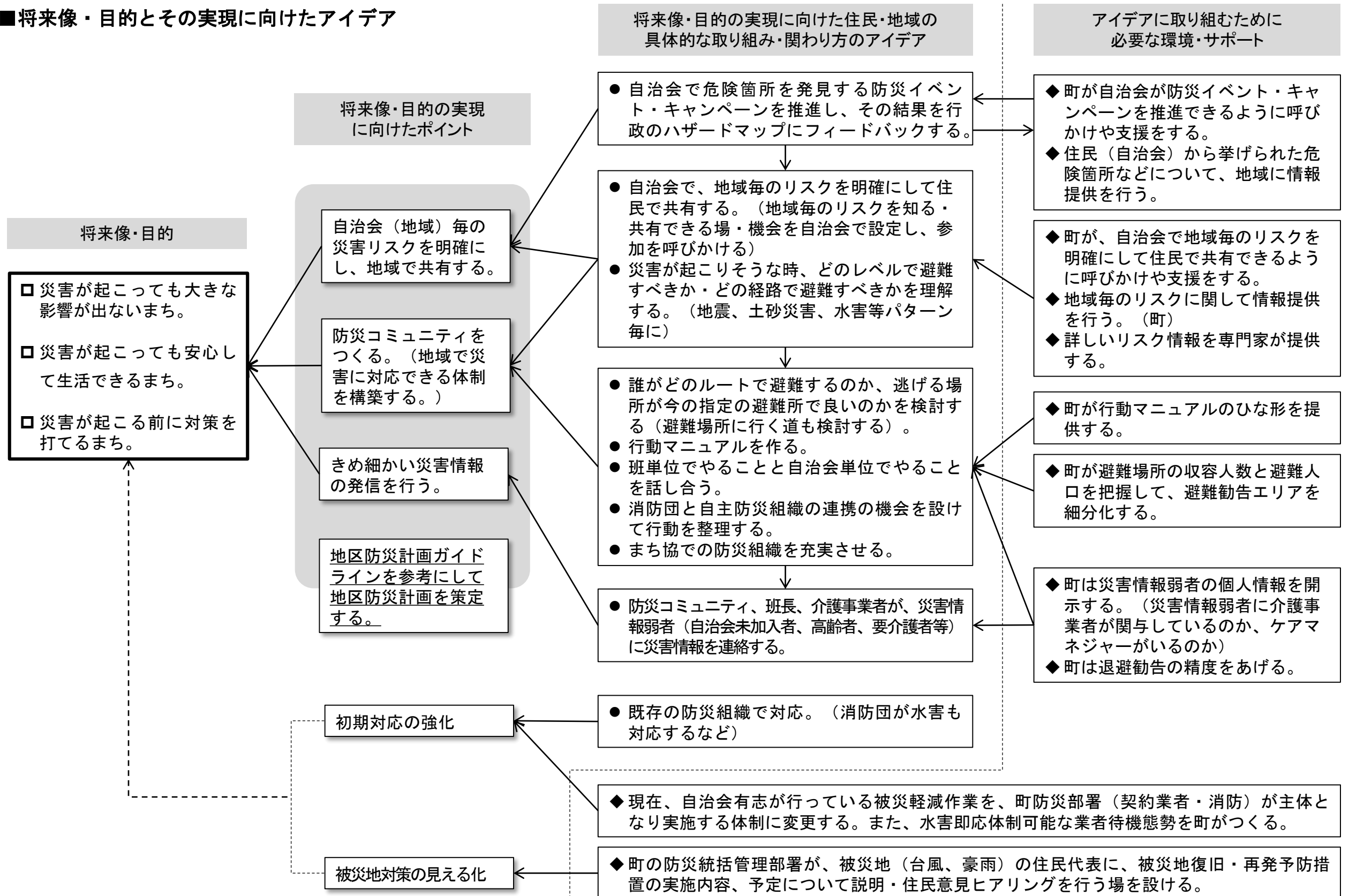


3. 防災

■問題意識

猪名川町においても近年、風水害が大きくなっており、全国的にも災害の大規模化が進んでいる。また、短期間に狭い地域で瞬間的に降る雨の量が増えており、今後さらにひどくなることが予想されていることから「防災」をテーマに設定。

■将来像・目的とその実現に向けたアイデア



4. 議論・対話の場

■問題意識

まちを動かそうとした時、人が関わってくる。人はそれぞれ価値観が違う。対話する場があれば、価値観が違うからそのまま歩み寄れないということではなく、お互いを理解して協力もできる。そのためにも、この「議論・対話の場」が必要である。

■将来像・目的とその実現に向けたアイデア

将来像・目的

□ 誰もが安心して自分の意見を言えて、
認めてもらえる関係性のあるまち。

「議論・対話の場」のポイント

- ✓ 「ガッチリ」から「ゆるく」まで、色々なレベル設定
- ✓ 「リアルな場」と「バーチャルな場（インターネット上）」などの場の設定
- ✓ 「テーマ」を決めて話す場と「テーマ」を決めずに話す場の設定
- ✓ 議論・対話のための「ルール」の設定
- ✓ 「楽しさ」「ノリ」が必要
- ✓ 議論・対話の場に関する情報発信・見せ方の工夫（参加したい、行きたいと思わせる工夫）
- ✓ プレゼン、ライトニングトーク（短いプレゼン）、フリートーク、チェアリングなど多様な手法の活用
- ✓ 議論・対話だけでなく、具体的なアクションにつながるような工夫

将来像・目的の実現に向けた住民・地域の具体的な取り組み・関わり方のアイデア

アイデアに取り組むために必要な環境・サポート

場づくりの準備

- 「議論・対話する場」をどうつくるか議論・対話をする。
- NPO「場とつながりの研究センター」の人から話を聞く。
- 町内全体の「議論・対話の場」のデザイン
- 「議論・対話の場」のルールづくり

具体的な場づくりと場の運用

- 猪名川版「フューチャーセンター」をつくる。
- 「〇〇について話す会」の開催。（テーマ設定型）
- モクモク会（実際はおしゃべりしながら作業）の開催。（テーマ未設定型）
- 大野山で話す会の開催。
- いながわベースの「ツナガリウム」の活用。（既存の取り組み活用型）

人をあつめる

- 声かけ、口コミ
- コミュニケーション
- きっかけづくり

- 続・まちづくりワークショップ
⇒まちづくりワークショップ参加者と具体的な活動を展開

◆ 専門家・有識者の助言

◆ 場の提供（公共施設等の活用など）

◆ Wi-Fiを町内全域に設置

◆ テーマ型団体の紹介、マッチング

◆ ポケモンGOのアイテム「おこう」の様な効果
ポケモンを呼び寄せるアイテム
＝参加者を呼び寄せる取り組み